

令和6年2月2日

芦屋市議会議長 帰山 和也 様

議会運営委員長 福井 利道

議会運営委員会 行政視察報告書

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施しましたので、報告します。

記

- 1 日 程 令和6年1月12日（金）
- 2 視察先及び  
視察項目 YouTubeによる議会中継について  
（京都府城陽市（オンライン視察））
- 3 参加者 委員長 福井 利道  
副委員長 川島 あゆみ  
委員 浅海 洋一郎、寺前 尊文、田原 俊彦  
議長 帰山 和也  
オブザーバー 大原 裕貴、たかおか 知子  
事務局 茶嶋 奈美、本宮 健男、平井 和樹
- 4 視察報告書 別紙のとおり

以上

## 令和5年度 議会運営委員会 行政視察報告書

視 察 日 時	令和6年1月12日（金）10時00分 ～ 11時16分
視 察 先	京都府城陽市議会（オンライン視察）
視 察 内 容	YouTube による議会中継について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	市民に芦屋市議会の活動状況をより身近にお知らせする方法として、YouTube 配信をする場合の参考とするため。
調 査 概 要	<p>◆城陽市議会のインターネット配信について 本会議を ASP 配信、委員会を YouTube 配信としている。</p> <p>◆編集作業について 無料の YouTube 編集ソフトで職員が編集を行い、動画をアップしているため、新たなコストはかかっている。</p> <p>◆チャンネル登録者数について 現状は 150 人程。新しい動画がアップされる度に通知が行くなどの機能があるためチャンネル登録者数を伸ばして行く必要があるが、現状としては周知・宣伝に課題があると考えている。</p> <p>◆一部の委員会の再生数が伸びていることについて 公共交通機関の敬老パスについての審査があり、市民の興味が高かったものと思われる。</p> <p>◆コメント欄について コメント欄はオフにして運用している。</p> <p>◆YouTube 配信を行うメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ YouTube そのものが市民権を得ている。</li> <li>・ YouTube 独自の機能（字幕、チャンネル登録すれば配信お知らせがあるなど）</li> <li>・ 無料で利用できる。</li> </ul> <p>◆YouTube 配信の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ YouTube の規約が改悪されるなど、現状のサービスがいつまで続くのか分からない。</li> <li>・ YouTube 側の判断で動画が突然削除された事例があり、その基準についても知ることが難しい。</li> <li>・ 無料で使用した場合の CM の挿入</li> </ul>
所 感 (意見・感想・今後の課題等)	<p>老若男女に親しまれている YouTube により議会の動画が配信されることで、市民により開かれた議会となると思われる。</p> <p>しかし、YouTube 側の運用ルールにかなり縛られることになり、特に再生回数が少ないなどの理由で動画が削除されたケースもあるようで、どのような議会の動画であっても等しく、一定期間は残す必要があるため、なかなかハードルが高いと感じた。</p> <p>無料で編集ができるとしても、事務局の職員が作業をすることになるところがネッ</p>

クとなり、コストがかからないように見えても実際には人件費がかかってしまう。また、いわゆる議論の「見せ場」だけを切り取って編集することは、市議会においてはできないため、その辺りが視聴者となる市民の希望とギャップがあるのではないかとも感じた。

一方で、城陽市のある市民の方から「市議会の傍聴には、何を着て行ったらいいのかわからない」と言われたというエピソードがあり、やはり市民にとってはまだまだ議会の傍聴はハードルが高いと感じた。

芦屋市議会としては、今後は既存のインターネット配信をいかに気軽に見てもらえるかの工夫をすることが現実的ではないか。議会報告会などのイベントを部分的に配信し、市議会に興味を持ってもらうなど、部分的な利用はこれからも研究していきたい。

視察の様子（令和5年度 議会運営委員会）

視 察 先  
（オンライン）

1 月 1 2 日  
京 都 府 城 陽 市



城陽市議会事務局の職員の方に、ご説明いただきました。

※この「視察の様子」のページは市議会事務局職員が作成しています。